

“助け愛隊”養成始動へ

学生提案の大山崎町介護予防事業

大山崎町と大阪人間科学大（大阪府摂津市）が共同で進めていた介護予防新規事業構築プロジェクトで提案された事業「『助け愛隊』サポーター養成講座」が、11月から始まる。高齢化が進むなか、介護予防への関心を高めるとともに人材育成を期待している。

11月から 基礎知識など講座

プロジェクトは昨年などについて学ぶ。5月に立ち上げ、同大 同町田明寺の町中央学医療福祉学科で介護 公民館を会場にして、福祉を専攻する学生らが実地調査やワークシ ョップに取り組んできた。が講師を務める。

「助け愛隊」は、昨年 問い合わせは町役場 年9月に開いたワーク 代表（956）21

シヨップで参加者から 01から町健康課高齢 提案された。今年3月 介護係へ。

にまとめられた報告書 養成講座の開始に先 に盛り込まれ、実施が 立って10月5日午後1 決まった。ボランティア 時半から、町中央公民 アサークルを立ち上げ 館で参加型の健康講演 たり、地域で介護予防 セミナーを催す。

に關わる活動をする人 健康運動指導士の己 材の育成を狙ってい 抄呼さんが講師とな る。り、座ったままでで

養成講座は10月から するオリジナルの体操 募集を開始し、町内在 などを

住かた動者を対象にす 対象は町内在住かた 者。計6回あり、参加 動者で、定員は先着1 者は介護予防の基礎知 50人。申し込みは町 識や認知症予防、地域 中央公民館（957） づくりとボランティア 14221。（峰政博）

プロジェクトの報告書をまとめるため、大山崎町が実施している介護予防事業を高齢者とともに体験する生徒たち（昨年夏、大山崎町）

